

令和元年10月23日
四国電力株式会社

伊方発電所3号機 廃棄物処理室（セメント固化装置）排気ファンの停止について

通常運転中の伊方発電所3号機（加圧水型、定格電気出力89万キロワット）原子炉補助建屋3階（管理区域内）のセメント固化装置^{※1}において、廃棄物処理室排気ファン^{※2}が2台運転のところ、10月22日19時02分頃、排気ファン3Cが停止し、1台運転になっていることを確認しました。

調査した結果、電源装置の不具合により、廃棄物処理室排気ファンに加え、廃棄物処理室給気ファン^{※2}も2台運転のところ、3Aが停止し、1台運転になっていることを確認しました。

その後、バックアップ電源に切り替え、給気ファンおよび排気ファンをそれぞれ2台運転に復旧しました。

今後、詳細を調査します。

本事象によるプラント運転への影響はありません。また、環境への放射能の影響もありません。

（参考）

- ※1：機器点検時の排水や洗濯排水等、管理区域内で発生した液体廃棄物を濃縮し、セメントと混ぜ、ドラム缶に詰めて固化する施設。
- ※2：廃棄物処理室の換気を行うためのファンで、給気ファンは3A、3Bの2台が、排気ファンは3A、3B、3Cの3台が設置されている。

